

一人一人の取り組みが ごみの削減につながる

環境政策課環境政策係 ☎0824・72・1398



日本の年間のごみ排出量は4,034万トン（令和4年度）。これは東京ドーム108杯分の量に相当します。このうち、本来食べられるのに捨てられる食品「食品ロス」の量は、472万トンにものぼり、国民一人当たり1日約103グラム（お茶碗1杯分）の食料を捨てている計算になります。

ごみの減量や食品ロスの問題を改善するには、一人一人の努力が欠かせません。

食品ロスの削減やごみの正しい分別など、できることから取り組み、ごみの削減に取り組みましょう。

進めます。分別などの指導や啓発を徹底することで、再使用・再生利用を進めています。

3 ごみの適正処理

ごみ処理体系について、市は現有施設の維持管理により、適正な処理体制の維持に努めています。

市民・事業者の皆さんには、適正なごみ処理や不法投棄などをさせない取り組みへの協力をお願いします。

食品ロスについて考えてみませんか

食品ロスとは、手付かずの食品や食べ残しなど、本来食べられるのに廃棄される食品のことを指します。

主な原因として、各家庭での料理の作り過ぎによる食べ残しや、買っても使わないでそのまま捨ててしまうことなどが上げられます。

食品ロスが増えることで、ごみ処理施設での焼却が増加し、地球温暖化の原因である温室効果ガス（二酸化炭素）の排出の増加につながります。

食品ロスを減らす3つの心得

■其の1

食べられるだけの量を購入する

■其の2

食べ残しをしない

■其の3

賞味期限と消費期限の違いを理解する

賞味期限と消費期限の違い

食品の期限表示は、賞味期限と消費期限の2種類があります。いずれも開封していない状態で、表示されている保存方法を守った状態の期限です。

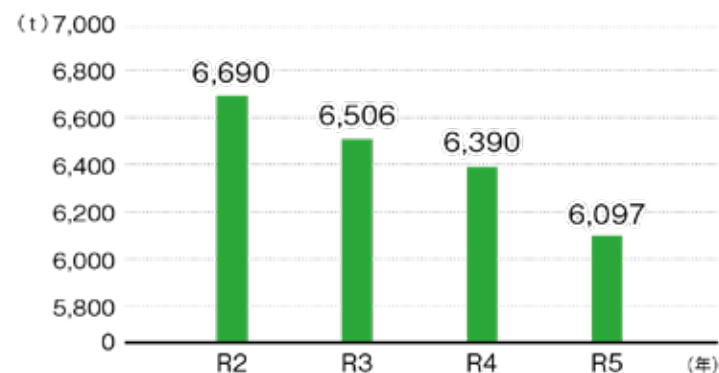
本市の現状

令和5年度、市内の主に家庭から出る「家庭ごみ」の排出量は、約6097トンで、市内全体のごみの量の約71パーセントを占めています。

また、令和5年度に家庭ごみの処理に要した費用は約4億円にも上ります。

ごみの排出量や処理費用は、市民の皆さんの適切な分別などにより、年々減少傾向となっていますが、分別が行われず出されているごみや、不法投棄など、不適切な事案も多数発生しています。

市内の「家庭ごみ」の排出量



「自然との共生で暮らしが輝くまち」を目指して

市は、これまでの大量生産・大量消費型の生活様式を見直し、市民・事業者・行政が一体となり、循環型社会※を構築していくため、「庄原市一般廃棄物処理基本計画」を策定しています。

循環型社会を構築していくためには、ごみを「減らす（リデュース）」「繰り返し使う（リユース）」「再び資源として使う（リサイクル）」の「3Rの取り組み」を進める必要があります。

本計画では、これらを含め、次の3つの柱を基に施策を進めています。

※循環型社会：廃棄物の発生を抑制し、再利用やリサイクルを推進することで、廃棄物を資源として循環利用する社会のこと

1 リデュース（排出抑制の推進）

ごみの減量化・資源化を進める3Rの取り組みの順序に着目し、「そもそもごみとして排出されるものを減らす」という「上流対策」を優先的に進めています。

2 リユース・リサイクル（再使用・再生利用の促進）

市民・事業者の意識改革によりライフスタイル・ビジネススタイルの中で再使用や再生利用の目的を理解し、適切な処理を実施できるよう取り組みを

賞味期限

おいしく食べることができる期限
※この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるという意味ではない

表示

3カ月を超えるもの：年月日表示
3カ月以内のもの：年月日で表示

対象の食品

卵、牛乳、スナック菓子、カップ麺、缶詰、レトルト食品、ハム、ソーセージなど

賞味期限

2025.10

消費期限

期限を過ぎたら食べない方がよい期限表示
年月日で表示

対象の食品

パン、弁当、サンドイッチ、生めん、総菜、ケーキなど

消費期限

2025. 1. 9

本市では、ごみを削減するため、さまざまな制度を設けています

再生資源物回収報奨金（集団回収）

再生資源物回収報奨金（集団回収）は、市民で構成する地域団体が、リサイクル可能な資源（新聞・缶・ビンなど）を自主的に回収し、資源の引き受け業者へ引き渡す活動に対して、報奨金を支払う制度です。リサイクルの推進や地域の活性化に繋がり、地域の活動資金を生み出します。



生ごみ処理機器購入補助金

家庭から出るごみのうち、約68パーセントが燃えるごみで、その内、約20パーセントが「生ごみ」になります。

市は、生ごみの減量化および資源化を図るため、生ごみ処理機器を購入・設置する人に補助金を交付しています。

※令和6年度の受け付けは終了



ごみの分別サイト「ごみサク庄原市」

「ごみサク庄原市」は、ごみの出し方や分別方法を簡単に調べることができる分類辞典サイトです。ごみの品名や五十音で検索することができ、ごみを捨てる際の注意点なども確認できます。庄原市公式LINE（メニュー「ごみ」→「ごみ分別ガイド」）から簡単に見るができますので、ぜひご活用ください。

庄原市公式LINE
はこちら



▼電池などの有害ごみ・スプレー缶・ガスボンベ・割れたガラスなど
ごみの出し方を間違えると、処理作業中に作業員がけがをする恐れがあります。
特にスプレー缶やガスボンベは、破裂・発火する危険があります。中身を使い切った上で穴を開け、「燃えないごみ」として出してください。



▼シュレッダー紙くずなど
機密文書をシュレッダーなどで裁断した場合も、リサイクル可能な紙類となります。裁断した紙くずを透明な袋に入れ、リサイクルプラザまたは東城ストックヤードへ持ち込んでください。

▼ごみを出す際の注意点
家庭で分別を行うと、再利用できる資源が増え、ごみ処理にかかる費用が削減できます。また、焼却処理をすることで発生する二酸化炭素を減らすことにもつながります。

環境への影響を最小限にするため、ごみを安全に処理するため、市の指定袋を使用し、正しい分別を行います。

ごみを出す際の注意点



燃えるごみ以外
リサイクルプラザに運び、破碎処理や選別処理をします。

缶、びん、容器包装プラスチック、ペットボトル、金属類、古紙、古着はリサイクルします。

有害ごみ（乾電池、蛍光管）は、民間業者へ委託し、適正に処理します。

燃えるごみ以外

燃えるごみ
市内の各家庭から出たごみは、備北クリーンセンターへ運び、焼却処理しています。

なお、東城地域の燃えるごみは、一度東城ストックヤードに集め、その後備北クリーンセンターに運び、焼却処理をします。

焼却で出た灰は、民間業者に委託し、セメントの原料として再生利用する仕組みになっています。

燃えるごみ

ごみ処理の流れ

ごみの問題は、現在だけでなく、将来の自分自身や家族の生活にも影響を及ぼします。将来にわたって暮らしやすい環境を守るためにも、正しい分別はもちろん、ごみを減らすことが重要です。整理整頓を心掛け無駄なものを買わない、賞味期限や消費期限を把握し無駄なく利用するなど、少しの心掛けでごみの排出量を減らすことができます。自身の日常生活を再確認し、ごみを減らす意識を持ちましょう。

ごみの種類・分別方法

ごみの分別については、市内全域で統一した分別方法となっています。「燃えるごみ」以外のごみは原則リサイクルすることとしていますので、確実な分別にご協力をお願いします。市指定のごみ袋は、市内のスーパーやドラッグストア、ホームセンターなどで販売しています。



■種類
燃えるごみ・古着
■指定袋の色 **青色**
■分別のポイント
燃えるごみと古着は、それぞれ別の袋で分別してください。
生ごみなど水分を含むごみは、しっかり水切りをしてください。
古着類は、自宅で洗濯をした後、出してください。



■種類
容器包装プラスチック類・ペットボトル
■指定袋の色 **黄色**
■分別のポイント
容器包装プラスチック類とペットボトルは、それぞれ別の袋で分別してください。
容器包装プラスチック類は マーク、ペットボトルは マークが目印です。



■種類
プラスチック類
■指定袋の色 **紫色**
■分別のポイント
容器包装プラスチック類以外のプラスチックが対象です。
金属が付いたおもちゃなど、プラスチックと金属の複合製品は、燃えないごみで出してください。



■種類
ビン・缶
■指定袋の色 **緑色**
■分別のポイント
ビン・缶のふたは、金属製で異素材がついていないふたは、そのままビン・缶で、金属製でプラスチックなどの異素材がついているふたは、燃えないごみで出してください。また中身を取り除き、水洗いしてください。



■種類
燃えないごみ・有害ごみ
■指定袋の色 **赤色**
■分別のポイント
燃えないごみと有害ごみは、それぞれ別の袋で分別してください。
割れ物などは、紙に包んで捨ててください。また包んだものには、マジックで「ワレモノ」「キケン」と書いてください。

紙類と粗大ごみは、指定袋がありません。紙類は、白い紙ひもで十字に縛って出してください。（リサイクルプラザに直接持ち込む場合は、縛る必要はありません）

指定袋に入らないごみは、粗大ごみになります。粗大ごみは、リサイクルプラザもしくは東城ストックヤードに直接持ち込んでください。持ち込むことが難しい場合には、戸別収集（有料）も実施しています。

戸別収集 毎月1回実施

申し込み方法

環境政策課リサイクルプラザ係または各支所地域振興室・産業建設室へ電話で申し込みください。

